

市民が池田市の魅力をレポートする
“市民記者”として、地元・池田の
情報を発信します。

今月の市民記者
安田 清さん

広報誌で池田を伝えて8年目。
外国人に日本語を教える「池田日
本語ボランティア友の会」のほか
「ほそごう地域コミュニティ推進
協議会(伏尾台地区)」など、市内
で幅広く活躍中。



取材先

届け! 関西からのちのバトン! (池田市公益活動促進協議会届出団体)

たくさんの方に命をつなぐ「献血」と、 命を救う「骨髄バンクドナー登録」を!

もし、みなさんの大切な
人に輸血が必要になったら
どうしますか? 今月号の特
集の骨髄バンクはご存じで
すか?
献血と骨髄バンクにドナ
ー登録してくれる方々を広
く求める活動や、いのちの
大切さを伝えるボランティア
活動をしている「届け!
関西からのちのバトン」
代表の赤木晴香さん
に話を伺いました。
献血の大切さ、骨髄バン
クについて①必要性を一人
でも多くの方に知ってもら
う②理解してもらおう③骨
髄バンクの登録を検討して
もらう④より多くの方に献
血会場に足を運んでいただ
く⑤ために、仕事と子育て
の傍ら、赤木さんは骨髄バ
ンクの説明員になり、赤十



池田駅前での献血と骨髄バンクチャリティイベント(昨年11月・太鼓塾一輝さん)

字血液センターの献血活動
と一緒に活動されていま
す。また、献血や骨髄バン
クをもっと身近に感じてい
ただこうと去年の11月に
は、池田駅前での献血活動
にて「第1回骨髄バンクチ
ャリティイベント」スー
プストックin いけだ」が
開催されました(後援:
NPO法人関西芸能文化振
興会)。太鼓の演奏や音楽
ライブとともに、飲食店や
雑貨店が集まり、市民の方
が気軽に参加できるイベン
トでした。「骨髄バンクって
知らなかったです」「一度、
献血に行ってみたいと思っ
ます」といった市民の感想
が聞けました。
献血とは、病気の治療や
手術などで輸血を必要とし
ている患者さんのために、
健康な人が自らの血液を善
意で提供する身近なボラン
ティアです。
もし、みなさんの大切な
家族、兄弟、学校の友人や
職場の仲間が輸血が必要に
なったらどうしますか?
このような時、1人では助
けることはできません。輸
血用血液はたくさんの方に
支えられて成り立っていま
す。池田市にも年間10回以
上献血車が来ていることを



池田駅前での献血活動と骨髄バンク登録会

ご存じでしょうか。献血は
16歳から69歳の方(※)まで
ご協力いただけます。
ぜひ、たくさんの方に命
をつなぐ「献血」と、命を
救う「骨髄バンクドナー登
録」(広報誌今月号の2〜7
ページ参照)にご協力いた
だけたらと思っています。

お問い合わせ

連絡先

市での献血予定は池田市献血推進協議会事務局(池
田市社会福祉協議会内) ☎751・0421または同局ホーム
ページ (<http://i-shakyo.or.jp/publics/index/114/>)、
「広報いけだ」健康コーナーでご確認ください。

※65~69歳の方は、60~64歳に献血の経験がある方に限
られます。詳細は大阪府赤十字血液センターホームページ
(<https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/>)をご覧ください。